

## 令和5年第2回田布施町議会定例会一般質問通告一覧表

質問者1 西本 篤史

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)光地区消防組合中央消防署東出張所整備計画について	<p>光地区消防組合東出張所（城南）は築約50年経ち老朽化している。旧耐震基準により設計されており大規模地震には対応できない水準となっている。耐震診断では構造耐震指標（I s 値）は0.3以下で防災拠点施設としての機能が確保できないという結果と聞いている。管轄地区は南海トラフ地震防災対策推進地域指定市町村であり防災拠点施設の耐震化は必須条件となる。</p> <p>現在の位置は浸水想定区域であり建て替えの場合は移転しなければならない。今後の移転先は決まったのか、建て替え費用の町の負担額はどれくらいかお尋ねします。</p>	町長
(2)少子高齢化に伴う社会教育について	<p>町の社会教育事業は町民全員が何らかの形で携わっていると感じる。中でも「社会教育5つの重点政策」は「生涯を通じた学びの充実、学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進、スポーツ活動への参加の促進、地域とともにすすめる文化の継承と創造、学校・家庭・地域における読書活動の推進」を掲げ地域ぐるみで子供を育てる環境づくりに努めている。しかし、少子高齢化の影響が出てきている。町内スポーツ少年団では2団が少子や指導者不足により解団した。また、一部放課後子ども教室も講師の高齢化により休止される。事業継続には広域化や連携が必要と思う。</p> <p>今後の事業方針をお尋ねします。</p>	教育長

質問者2 内山 昌晃

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)事業の評価は施策に反映されているか	<p>昨年10月に教育委員会事務事業の点検・評価報告書が、11月に総合戦略の評価検証資料が公表されました。</p> <p>また、2月27日には、令和5年当初予算概要の説明の中で新規事業、拡充事業が公表され、新年度予算は4億6千万円の財源不足の中、子育て・人口減少抑制・デジタル化等を重点的に予算化したとの説明がありました。</p> <p>これらを踏まえ、計画、実施、評価、改善という一連のプロセスについて、誰がどのように行い、どう改善し、新規・重点事業へと転化したのか。また、評価の低い事業については、どのように改善をし、どのように実施していくのか。更に、財源不足を理由に実施を見送った事業や縮小した事業があるか、お尋ねします。</p>	町長
(2)交流・関係人口の拡大を	<p>新型コロナの発生から3年余りが経過し、感染法上の分類を5月8日から季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げることとなりました。これまで、施設の閉館や人数に制限を設けたり、イベントなども長らく中止となっていました。ようやく平常に戻ります。</p> <p>本町には、交流・関係人口拡大の拠点として、「地域交流館」と「馬島（のんびらんどうましま）」があります。その中で、特にコロナの影響を受けたのは「馬島（のんびらんどうましま）」であると思います。</p> <p>これまでの閉塞感を取り戻すためにも来年度は、飛躍のチャンスだと思います。馬島在住の元地域おこし協力隊、また同じく馬島在住の若者によ</p>	町長

	<p>る「しまっこ隊」は継続的に直向きに活動を行っています。町として彼らとどう関り、活かしていくのか。また、のんびらんどうましまにおいては、昨今のキャンプ・サウナブームをどう捉え活かしていくのか。</p> <p>更に、長年の懸案事項でもある一年を通してのキャンプ場の運営について新たな展開があるかお尋ねします。</p>	
(3) 安心・安全なまちづくり	<p>マスコミで毎日のように報道されている、いわゆる「広域連続強盗事件」は、高齢者をターゲットに全国各地で発生しています。山口県内では、岩国市でも発生しており、本町においても決して安全な地域とは言えません。</p> <p>各家庭においては、それぞれが自衛の手段として防犯カメラや施錠を強化する等の対応が必要と思いますが、駅前、公園、図書館、主要道等のパブリックスペースについては、町が防犯カメラ等を設置するなど、町民の安全を守る必要があります。今後、防犯カメラの設置予定はあるか、また、他に何らかの防衛手段を考えているかお尋ねします。</p>	町長

質問者3 瀬石 公夫

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1) 町の基金及び決算剰余金の活用について	<p>町民を取り巻く内外の難局が押し寄せており、依然として新型コロナウイルス感染の生活への影響は続いており、またロシアのウクライナ侵攻による物価高騰で普段の町民生活は大きな影響を受けている。</p> <p>こうした中、町の令和4年度基金残高見込は20億6,405万円となっているが、新年度予算で取り崩されたか、また令和4年度の決算剰余金見込み額を詳細に見積もり新年度予算に反映されているか尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 財政基金は9億8,061万円となっているが、新年度予算で使用されたか。また、今後の使用計画は。</li> <li>2 公共施設整備基金3億4,191万円の使用計画は。</li> <li>3 国民健康保険事業基金1億4,861万円を活用して、国保税の引き下げを実施しては。</li> <li>4 令和6年度は介護保険料の見直しの年であるが、介護給付費準備基金2億1,878万円を活用して、保険料を引き下げては。</li> <li>5 令和3年度の決算剰余金は3億1,442万円であったが、新年度予算額は幾らと見積もられているか。</li> </ol>	町長
(2) 各小学校のプール対策について	<p>町内各小学校にはプールが設置されており、水に慣れ、泳ぐ運動で生徒の安全確保や体力向上に繋がり効果を上げている。</p> <p>しかし、プールの更衣室、トイレは和式で古く早急に改修が必要と思われる。また、プール設備、プールサイド等も老朽化しており、今後どのような対策を取ろうと考えられているか。そこで、次のことについて尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 計画的な修繕計画は有るのか。</li> <li>2 プール及びプールサイドが老朽化しており生徒が足や手を擦り剥くなど怪我が発生すると聞いているが対策は。</li> <li>3 プール開設時の水質管理や設備管理は誰がどの様に行っているのか。</li> <li>4 スポーツセンターのプールを授業で使用できないか。生徒の移動方法や授業時間の確保など検討課題は有ると思うが。</li> <li>5 スポーツセンターのプールを使用する場合の費用対効果を試算することが必要と思うがどうか。</li> </ol>	町長 教育長

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1) 30 by 30	<p>G7各国は2030年までに地球の陸と海の30%を自然環境エリアとして保全することを目標としている。日本は自然保護エリアが陸上で約10%、海で約17%の追加認定が必要な状況だ。環境省は保護エリアとして認定実現を目指している。</p> <p>田布施町は海、川、山に囲まれ、飛地もある自然豊かな50km<sup>2</sup>の町である。しかし、この豊かな自然が変化している。温暖化による自然破壊と人間の生活スタイルの変化が影響していると考ええる。海も森も荒れ、川も昔と違う。</p> <p>小行司には町の天然記念物ギフチョウも生息し、生物多様性の保全と持続可能な森林資源の利用が望まれる。馬島、麻里府海岸の海藻の再生事業、これにより魚や貝が復活し、漁業で生計が成り立つようにできないか。新たな漁業移住者も期待できる。環境省に働きかけ国のモデル事業として認定を受ければ財政支援が可能ではないのか。モデル事業は馬島観光の促進、小行司地区の活性化に繋がると考える。国、県への働きかけを町はどのように考えるか尋ねる。</p>	町長
(2) 川の駅	<p>田布施町活性化のため行政と議員でプロジェクトチームを編成し、交流館の名称を道の駅に変更する課題に取り組んだ。道の駅基準をクリアするには、町の財政負担が大きすぎると判明した。理由は図書館前の道路が町道で、国・県の補助対象事業にならないためだ。財政上のハードルが高過ぎ断念した経緯がある。</p> <p>田布施川は県管理の2級河川であり、交流館は川に面して施設がある。交流館を山口県最初の川の駅として、今以上に観光客と購買客を呼び込む起爆剤にしたいと考える。道の駅同様に名称変更に伴う施設の改修や、新たな施設の設置が必要だろう。県管理の川に面しているため、単独事業でなく県からの財政支援が期待できる。近隣公園も役場を挟み川に面しているので、同時に申請対象とすべきだろう。交流館は桜、近隣公園は植樹をして紅葉で、来客者に年2回のアピールも可能と考える。住民の知恵も集め魅力を高めようではないか。川の駅をどのように考えるか尋ねる。</p>	町長
(3) 道の駅	<p>「小さく産んで大きく育てる」をモットーとして、行政が主体になりリーダーシップを発揮して事業を進めて欲しい。田布施には交流館という成功事例がある。最初は事業開始時の負担が少ないよう立ち上げ、行政が主体となり挑戦する必要があると考える。</p> <p>麻里府には公民館移転の計画があり、その実現に向け「夢プラン」と「地域に密着した公民館を考える会」のプロジェクトチームがある。地域活性化、住民の利便性向上のため、行政、プロジェクトチームに汗をかいで欲しいと思うのは私だけではないだろう。地域を巻き込み、行政が先頭に立ち旗を振る必要がある。食料の購入施設が近くにできれば、人口減少のスピードを遅らせることも期待できる。188号線の岩国～徳山間で道の駅がない今がチャンスと思う。港への道も整備し、馬島の活性化はアイデア次第で将来の希望が持てる。道の駅、川の駅の相乗効果で来客者の増加が期待できる。次世代に希望が持てる施設として、道の駅に挑戦することを尋ねる。</p>	町長

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1)机上災害避難訓練の実施等により避難連絡体制の実効性の確保を</p>	<p>自然災害への対応として重要なことは、防災、減災と避難の3点です。最近の自然災害は激甚化の傾向にあり、避難の重要性が増しています。こうした中、当町においても、全域で自主防災組織が立ち上がり避難体制が整ったように見えますが、実際の災害発生時、想定どおり避難が進むか、検証の必要があると考えます。有効な避難連絡体制は、自治会の班単位で作成し、自治会で集約するのがよいと思います。班単位だと、個別避難計画の策定も容易です。だれが避難体制を作成し、班員へどう周知し、更新はどうするかなど、全町分をチェックし、避難体制ができていない班や自治会へ指導を行うのが町の役割だと考えますが、如何お考えでしょうか。避難体制の整備と併せて実施していただきたい項目として、下記を提案します。①チェックシート3枚の各戸配布（1枚目は、避難場所、警戒レベルの説明を記載したもの。2枚目は、防災グッズ準備チェックリスト、3枚目は、班の避難連絡体制を記載したもの）②作成した避難連絡体制の確認と班員での共有及び総務課への報告③作成した避難連絡体制をベースに、総会等で机上の避難訓練を行うこと。</p>	<p>町長</p>
<p>(2)灸川の氾濫対策として「流域治水」の推進を</p>	<p>近年、気候変動による水害の激甚化・頻発化が進み、毎年のように全国各地で自然災害が発生しており、水害の更なる頻発・激甚化が懸念されます。当町では、幸いにも大きな災害は発生していませんが、特に、灸川は危険氾濫水位に達する時間が早く、対応が必要なことは言うまでもありません。2005年には灸川の柳井側の堤防が決壊しております。</p> <p>こうした状況の中、国は、気候変動のスピードに対応した新たな水害対策としてハード・ソフト一体となった総合的な事前防災対策「流域治水プロジェクト」を開始しました。流域治水とは、国、流域自治体、企業等が協働し従来の河川整備に加え、雨水貯留浸透施設や土地利用規制、利水ダムの事前放流などを行う事業です。様々な事業がある中で、灸川に最適と思われるものに、「田んぼダム」があります。田んぼダムは、従来の河川整備に比べ、経費も少なくすみ、氾濫を防ぐ効果も期待できます。これまで、灸川の改修・浚渫等の河川氾濫対策を毎年県へ強く要望しておりますが、これらに加え田んぼダムの整備を核とした流域治水の取組を開始すべきと思いますが、如何お考えでしょうか。</p>	<p>町長</p>
<p>(3)飲食店等各種事業者へのコロナ禍・物価高対応の経営継続支援について</p>	<p>令和2年に国内で感染が確認されて以来、新型コロナウイルス第8波もピークを過ぎ、第5類へ移行となるなど、一時期の危機的な状況は脱した感がありますが、町商工会が最近の状況を調査したところ、コロナ禍でもっとも影響を受けた飲食店等では、昨年に比べ売上は伸びているが、コロナ禍前までは回復していない、コロナ禍時に受けた融資の返済が厳しいので借り換えを予定しているなど、経営的に厳しい状況が続いているとの事でした。最近では、ロシアのウクライナ侵攻に端を発した物価高、電気料金の高騰等が飲食業界のみならず、全産業、家計に影響を及ぼしています。町の活性化、雇用の場の確保のためには、今ある事業所は、最低限経営継続されるよう配慮が必要と考えます。これまで、各種支援施策を実施した中で、小売り・飲食・サービス業等への経営継続支援事業は、令和2年度に2回、3年度に1回実施しておりますが、4年度は未実施です。この難局を乗り越えるため コロナ禍の事後支援に加え、物価高、電気料金の高騰対策として、小売り・飲食・サービス業を中心に、再度の支援が必要と考えますが、如何お考えでしょうか。</p>	<p>町長</p>

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)障がい者への合理的配慮を	<p>2021年に公布された改正障害者差別解消法により、障がい者への「合理的配慮」は、地方自治体だけでなく、民間事業者にも、3年以内にはそれまでの努力義務から法的義務化されるようになってくる。</p> <p>(1) 2016年の障害者差別解消法の施行以来、障がい者団体や障がい者個人からの公共施設への合理的な配慮の要望は？</p> <p>(2) 現在、庁舎を含む町の公共施設、及び、職員の窓口対応面での障がい者への合理的配慮の実施状況は？</p> <p>(3) バリアフリー化がほとんど進んでいない議場の合理的配慮を。</p> <p>(4) 新規公共施設と第一次避難所には、オストメイト対応の多機能トイレと車椅子の常備を。</p> <p>(5) 今後、合理的配慮の義務化となる民間への助成事業の現状とこれからの助成は？</p> <p>(6) 合理的配慮に関する職員と町民に向けた意識改革の為の取組は？</p> <p>(7) 障がい者雇用支援の現状と今後の取組は？</p>	町長
(2)インクルーシブ教育における合理的配慮は	<p>文科省の調査によると、通常学級の8.8%が何らかの発達障害の可能性があることが明らかになっている。</p> <p>そのために、幼保の段階から、小・中学校における通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある「多様な学びの場」を用意しておくことが必要であると言われている。</p> <p>(1) 町内の学校のインクルーシブ教育における合理的配慮は？</p> <p>(2) インクルーシブ教育について、教員間、児童・生徒間、障がい者の親と関係する教員間、保護者や地域住民と学校間の理解は？</p> <p>(3) 幼保と小学校、小学校と中学校、中学校と高校（総合支援学校の高等部）との移行時の情報の引継ぎは？</p> <p>(4) 総合支援学校と小・中学校との児童・生徒間の交流、共同学習は？</p> <p>(5) インクルーシブ教育などを網羅した、2023年度から始まる「田布施町教育振興基本計画」の発行は？</p>	町長 教育長
(3)生涯スポーツを担うNPO法人の設立を	<p>以前から教員の働き方改革の面や地域の生涯スポーツを進めていく面からも問題視され、教員の教育課程外の職務に委ねられている部活の地域移行について、令和7年度までに休日の移行をスポーツ庁や文科省が打ち出している。</p> <p>ただ単に、部活の地域移行への受け皿だけではなく、地域の生涯スポーツを推進していく面から、いろんな団体を統合して生涯スポーツを担うNPO法人の設立が必要ではないかと思われる。</p> <p>(1) 昨年の6月議会で行った一般質問の検討課題について、その後の進捗状況と検討課題は？</p> <p>(2) 当面、土日の部活を地域への移行はどのような形態で、また、過渡期における部活の形態は？</p> <p>(3) 介護事業や障がい者スポーツの現状は？</p> <p>(4) 今後策定される「田布施町教育振興計画」と「田布施町スポーツ推進計画」に先進地事例を。</p>	教育長

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1)ふるさと寄付金 一層の促進を</p>	<p>財源は、自治体の規模や財政力に応じて国から交付される地方交付税や保育や医療など使い道の決まった支出金などの依存財源と、町税や繰越金、繰入金やふるさと納税の寄附金などの自主財源がある。令和4年度当初一般会計予算は69億円であった。この予算は、中国地方の山間部の自治体に比べ、人口は多いにもかかわらず少ない予算である。田布施町には合併特例債や過疎債といった地方債がないからである。自主財源の中で、ふるさと納税の寄附金及び企業版ふるさと納税は、財政上でも大きな可能性があるものである。自治体によってバラツキがあり、多いところでは北海道紋別市で寄附金額が150億円を超えている。返礼品に対する様々な対策を徹底してから、飛躍的に寄付金が伸びたと聞く。そこで、田布施町の取り組みと対策を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今年度のふるさと寄付金はいくらで、去年と比べてどうであったか。</li> <li>2. ふるさと寄付金をされた方で、リピートして寄付いただいた方の比率は。</li> <li>3. 企業版ふるさと納税の状況と現在の取組は。</li> <li>4. 返礼品の新たな商品の開拓は。</li> </ol>	<p>町長</p>
<p>(2)鳥獣被害対策の進捗について</p>	<p>現在、町内の多くの箇所では鳥獣被害の報告を耳にする。これは急に問題化したのではなく、かなり前から議会でも問題視され、多くの議員が取り上げた継続した問題である。その多くが、町単独ではなく広域で取り組むとの答弁である。</p> <p>私も一昨年の12月に、狩猟者が取った鳥獣を自分で処分しなければならない現状があり、かなりの負担となっていることから、食肉加工場や、処分するのであれば焼却場などの施設の検討をお願いした。その時の答弁は町単独では考えない、ただ、県東部鳥獣被害広域対策連絡協議会があるので、そういった声を協議会に届けるという答弁だった。あれから1年以上が経過。農作地への柵等の対策が進み、農産物への被害が減る一方、居住地付近で度々目撃されるようになり、庭や道路ののり面などを荒らされ、宅地への侵入を防ぐため、家の廻りに柵をしなければならなくなっている方もいる。そこで尋ねる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県東部鳥獣被害広域対策協議会に声は届けてもらえたか。</li> <li>2. 本年度終わる田布施町鳥獣被害防止計画の今まで実施した取り組みは。</li> <li>3. 鳥獣の連絡が入ったとき、町ではどのような対応をしているか。</li> </ol>	<p>町長</p>

質問事項	質問要旨	質問の相手
<p>(1)田布施の住みやすさ、幸福度をどう高めるとよいか</p>	<p>1月13日の中国新聞に掲載されていた県内幸福度ランキング2022(大東建託調べ)によると、1位下松市、2位光市、3位宇部市と続き、10位田布施町となっていた。2021年の調査では、4位だった。</p> <p>ランキングはあくまで目安だが、住民に幸福と感じてもらうことは大事だ。</p> <p>田布施の住みやすさ、幸福度をどう高めていけばよいと思うか。</p>	<p>町長</p>

(2)イノシシ被害拡大防止対策は	<p>最近、海側の畑にもイノシシが出没し、農作物の被害が出ているという話をよく聞く。昔は山側の被害の話がほとんどだった。環境変化など理由はあるが、電気柵などの用意を考え始めた人も多くなっていると思う。</p> <p>最新のイノシシ被害拡大防止対策などあるのか。以前、ジビエレストランの難しさの説明もあったが、流通システムが確立している豚肉料理との共用レストランなどの許可がおりるようなら、対策の一つにならないか。</p>	町長
------------------	--	----

質問者9 落合 祥二

※一問一答

質問事項	質問要旨	質問の相手
(1)県内で4番目に高い本町の水道料金について	<p>令和2年度「山口県の水道の現況」によると、県内19市町の1か月の水道料金20㎡使用で、高い順に周防大島町4,820円、柳井市4,752円、上関町4,730円、田布施町と平生町は4番目で4,708円となっている。一番安いのは下松市1,534円で、本町はその約3倍で3,174円高い。</p> <p>柳井市、周防大島町、上関町、平生町、田布施町の水道料金が、他の県内市町と比べ、特に高い。そこで、次について尋ねる。</p> <p>①高料金対策の県水道料金安定化対策費補助金が、令和5年度は前年度より1,411千円減の2,771千円となっている。何故か。算出根拠は。</p> <p>②柳井市の審議会が「給水人口の減少に伴う料金収入の減少により20㎡の料金を今年の12月以降の検針分から385円(8.10%)増額し5,137円とするよう」答申した。本町も、柳井市と同様の値上げが必要か。</p> <p>③本町の水道料金を、今後、どのようにすべきだと考えるか。また、その対策は。</p> <p>④本町の水道普及率は、県内19市町で一番低い63.3%だという現状について、どう思うか。</p>	町長
(2)田布施駅及び駅周辺の整備並びに田布施駅のバリアフリー化について	<p>田布施駅及び駅周辺の整備並びに田布施駅のバリアフリー化について、令和3年の12月議会と令和4年の3月議会で質問した。その後、状況が変わってきている。そこで、次について尋ねる。</p> <p>①駅舎の建替えをJR西日本が提案してきたと聞いたが、その後は。</p> <p>②駅のトイレは、JR西日本の土地を無償で受け、町で整備するとの考えを聞いているが、その後は。</p> <p>③駅のバリアフリー化について、国土交通省鉄道局の予算決定概要に「鉄道駅において、エレベーター等の設置による段差解消、内方線付き点状ブロックの設置による転落防止、バリアフリートイレの設置等を推進し、ユニバーサル社会の実現や快適な旅行環境の整備を図る。また、支援措置の重点化を図るため、バリアフリー基本構想に位置付けられた鉄道駅におけるバリアフリー設備の整備については、補助率を最大1/3から最大1/2に拡充した。これを活用し鉄道駅のバリアフリー化の加速化を図る。」とある。田布施駅の令和3年度の利用者数は1,958人。国のバリアフリーの補助金の獲得にチャレンジするつもりはないか。</p>	町長
(3)一部業務を民間委託した給食センターの現況及び今後について	<p>令和3年9月の2学期から、給食センターの一部業務(調理、学校ごとに配缶、配送・回収、洗浄・消毒)を民間業者の株式会社「日米クック」に委託し1年6か月が経過した。</p> <p>そこで、次について尋ねる。</p> <p>①現況及び今後について</p> <p>②平生町から給食センターの共同運営の申し出があったと聞いているが、対応はどのようにするのか。</p>	町長 教育長

	<p>③文部科学省では、教員の業務負担の軽減等に向け、学校給食費の公会計化を促進すると共に、保護者からの学校給食費の徴収・管理業務を地方公共団体が自らの業務として行うことを促進している。</p> <p>本町では学校給食費収入と食材費支出を学校独自の会計（私会計）で処理しているが、公会計での処理は、いつから行うのか。</p>	
<p>(4)田布施地域交流館から広島市紙屋町のバスセンターを結ぶ防長高速バスの廃止について</p>	<p>防長交通株式会社が、2002年（平成14年）10月1日に開通した防長の高速バス「田布施・平生・柳井～広島線（田布施地域交流館から広島市紙屋町のバスセンターを結ぶ）」を、「慢性的な乗務員不足と新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う利用者の減少により運行を継続することが困難な状況となり、本年3月17日（金）の運行をもって廃止する」と発表した。</p> <p>そこで、次について尋ねる。</p> <p>①廃止にともなう影響は。</p> <p>②町が補助している生活バス6路線や今度策定予定の地域公共交通計画に影響はないか。</p> <p>③対策はあるか。</p>	<p>町長</p>